

福島第一原子力発電所 建屋開口部等における空气中放射性物質の核種分析結果<1/9>

参考値

(データ集約：6/20)

採取場所	運用補助共用施設3階 (機器ハッチ近傍)		運用補助共用施設3階 (南側階段前)		運用補助共用施設3階 (北側階段前)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
	平成26年5月2日 8時02分	平成26年5月3日 9時10分	平成26年5月2日 8時04分	平成26年5月3日 9時11分	平成26年5月2日 8時00分	平成26年5月3日 9時08分	
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-	ND	-	3E-03

※ 本分析は、燃料取り扱い時の空气中放射性物質の核種分析結果である。

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.○E-○とは、○.○×10^{-○}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約3E-8Bq/cm³、Cs-134が約6E-8Bq/cm³、Cs-137が約1E-7Bq/cm³。

粒子状のI-131が約2E-8Bq/cm³、Cs-134が約4E-8Bq/cm³、Cs-137が約5E-8Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

採取場所	運用補助共用施設3階 (機器ハッチ近傍)		運用補助共用施設3階 (南側階段前)		運用補助共用施設3階 (北側階段前)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
	試料採取日時刻	平成26年5月5日 8時02分	平成26年5月6日 9時21分	平成26年5月5日 8時05分	平成26年5月6日 9時22分	平成26年5月5日 8時00分	
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	3.5E-08	0.00	5.9E-08	0.00	2.7E-08	0.00	3E-03

※ 本分析は、燃料取り扱い時の空气中放射性物質の核種分析結果である。

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.○E-○とは、○.○×10^{-○}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約2E-8Bq/cm³、Cs-134が約3E-8Bq/cm³、Cs-137が約3E-8Bq/cm³。

粒子状のI-131が約2E-8Bq/cm³、Cs-134が約4E-8Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

採取場所	運用補助共用施設3階 (機器ハッチ近傍)		運用補助共用施設3階 (南側階段前)		運用補助共用施設3階 (北側階段前)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
	試料採取日時刻	平成26年5月12日 8時12分	平成26年5月13日 9時04分	平成26年5月12日 8時15分	平成26年5月13日 9時07分	平成26年5月12日 8時10分	
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-	ND	-	3E-03

※ 本分析は、燃料取り扱い時の空气中放射性物質の核種分析結果である。

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.○E-○とは、○.○×10^{-○}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約4E-8Bq/cm³、Cs-134が約7E-8Bq/cm³、Cs-137が約1E-7Bq/cm³。

粒子状のI-131が約3E-8Bq/cm³、Cs-134が約4E-8Bq/cm³、Cs-137が約5E-8Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

採取場所	運用補助共用施設3階 (機器ハッチ近傍)		運用補助共用施設3階 (南側階段前)		運用補助共用施設3階 (北側階段前)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
	試料採取日時刻	平成26年5月15日 8時18分	平成26年5月16日 9時05分	平成26年5月15日 8時20分	平成26年5月16日 9時03分	平成26年5月15日 8時15分	
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	2.7E-08	0.00	ND	-	2.0E-08	0.00	3E-03

※ 本分析は、燃料取り扱い時の空气中放射性物質の核種分析結果である。

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.○E-○とは、○.○×10^{-○}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約2E-8Bq/cm³、Cs-134が約3E-8Bq/cm³、Cs-137が約3E-8Bq/cm³。

粒子状のI-131が約2E-8Bq/cm³、Cs-134が約3E-8Bq/cm³、Cs-137が約5E-8Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

採取場所	運用補助共用施設3階 (機器ハッチ近傍)		運用補助共用施設3階 (南側階段前)		運用補助共用施設3階 (北側階段前)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
	試料採取日時刻	平成26年5月18日 8時07分	平成26年5月19日 9時19分	平成26年5月18日 8時04分	平成26年5月19日 9時16分	平成26年5月18日 8時01分	
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-	1.8E-08	0.00	ND	-	3E-03

※ 本分析は、燃料取り扱い時の空气中放射性物質の核種分析結果である。

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.○E-○とは、○.○×10^{-○}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約2E-8Bq/cm³、Cs-134が約2E-8Bq/cm³、Cs-137が約3E-8Bq/cm³。

粒子状のI-131が約9E-9Bq/cm³、Cs-134が約2E-8Bq/cm³、Cs-137が約2E-8Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

採取場所	運用補助共用施設3階 (機器ハッチ近傍)		運用補助共用施設3階 (南側階段前)		運用補助共用施設3階 (北側階段前)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
	試料採取日時刻	平成26年5月21日 8時23分	平成26年5月22日 9時02分	平成26年5月21日 8時19分	平成26年5月22日 9時03分	平成26年5月21日 8時17分	
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-	ND	-	3E-03

※ 本分析は、燃料取り扱い時の空气中放射性物質の核種分析結果である。

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.○E-○とは、○.○×10^{-○}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約4E-8Bq/cm³、Cs-134が約7E-8Bq/cm³、Cs-137が約9E-8Bq/cm³。

粒子状のI-131が約2E-8Bq/cm³、Cs-134が約4E-8Bq/cm³、Cs-137が約6E-8Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

採取場所	運用補助共用施設3階 (機器ハッチ近傍)		運用補助共用施設3階 (南側階段前)		運用補助共用施設3階 (北側階段前)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成26年5月24日 8時25分	平成26年5月25日 9時06分	平成26年5月24日 8時28分	平成26年5月25日 9時08分	平成26年5月24日 8時23分	平成26年5月25日 9時04分	
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	1.7E-08	0.00	ND	-	1.8E-08	0.00	3E-03

※ 本分析は、燃料取り扱い時の空气中放射性物質の核種分析結果である。

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.○E-○とは、○.○×10^{-○}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約2E-8Bq/cm³、Cs-134が約4E-8Bq/cm³、Cs-137が約3E-8Bq/cm³。

粒子状のI-131が約1E-8Bq/cm³、Cs-134が約2E-8Bq/cm³、Cs-137が約2E-8Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

採取場所	運用補助共用施設3階 (機器ハッチ近傍)		運用補助共用施設3階 (南側階段前)		運用補助共用施設3階 (北側階段前)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
	試料採取日時刻	平成26年5月27日 8時02分	平成26年5月28日 9時13分	平成26年5月27日 8時03分	平成26年5月28日 9時16分	平成26年5月27日 8時01分	
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	1.9E-08	0.00	ND	-	ND	-	3E-03

※ 本分析は、燃料取り扱い時の空气中放射性物質の核種分析結果である。

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.○E-○とは、○.○×10^{-○}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約2E-8Bq/cm³、Cs-134が約3E-8Bq/cm³、Cs-137が約3E-8Bq/cm³。

粒子状のI-131が約1E-8Bq/cm³、Cs-134が約2E-8Bq/cm³、Cs-137が約2E-8Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

採取場所	運用補助共用施設3階 (機器ハッチ近傍)		運用補助共用施設3階 (南側階段前)		運用補助共用施設3階 (北側階段前)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成26年5月30日 8時30分	平成26年5月31日 9時11分	平成26年5月30日 8時31分	平成26年5月31日 9時08分	平成26年5月30日 8時28分	平成26年5月31日 9時06分	
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-	ND	-	3E-03

※ 本分析は、燃料取り扱い時の空气中放射性物質の核種分析結果である。

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.○E-○とは、○.○×10^{-○}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約5E-8Bq/cm³、Cs-134が約7E-8Bq/cm³、Cs-137が約1E-7Bq/cm³。

粒子状のI-131が約2E-8Bq/cm³、Cs-134が約4E-8Bq/cm³、Cs-137が約6E-8Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。